

学齢期の子どもの居場所 ～子ども食堂と学習支援～

子どもの居場所とは

すべての子どもたちが、学校でも家庭でもない「第3の居場所」として、ひとりでも立ち寄ることができ、安心して過ごせる居場所のことです。

居場所を必要とする子どもを広く受け入れ、さまざまな活動や世代間交流などを通して子どもたちの健全な育成を図ることを目的としています。



子ども食堂

子どもも大人も、地域の方々が交流できる場として、食事と居場所を安価または無料で提供をしています。

学習支援

学習方法からテスト対策まで、子どもたちに学習することの楽しさを知ってもらうため、学習支援を行っています。

学齢期の子どもの居場所



戸塚区内の様々な場所で開催されているので、ぜひ一度、二次元コードから詳細をご覧ください！



URL <https://www.totsukashakyo.com/kodomo/>

戸塚区 子どもの居場所 検索

| | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|--|
| 2023年度 上期行事 | 5月21日(日) ■第28回 チャレンジフェスティバル(戸塚小学校) 19種類の競技にチャレンジ！出るか新記録!! | 6月11日(日) ■戸塚区青少年指導員全体研修(戸塚区役所) 青少年指導員を対象にスキルアップを図る研修 | 7月22日(土) ■全市一斉統一行動パトロール 青少年指導員が繁華街、公園などを中心に巡回夜間パトロールを実施 | 7~8月 ■社会環境実態調査(インターネットカフェ・まんが喫茶、古書店、ゲームソフト取扱店などの店舗調査) 有害図書区分陳列、18歳未満深夜入場制限規制表示、喫煙飲酒状況等を確認し、青少年保護育成条例の遵守状況を調査、報告 | 9月16日(土) ■令和5年度横浜市青少年指導員研修会 |
| | 2023年度 下期行事 予定 | 9月30日(土) ■第33回戸塚っ子いきいきアートフェスティバル(戸塚小学校) 区内小中高生による合唱・吹奏楽・ダンスなどの合同発表会 | 11月3日(金・祝) ■第47回戸塚ふれあい区民まつり(東戸塚小学校) 工作教室や模擬店を出店 | 11月12日(日) ■神奈川県青少年指導員大会(県立青少年センター) | 12月2日(土) ■青少年防災対応力強化研修(横浜市消防訓練センター) 区内中高生の防災対応力強化を目的に、心肺蘇生等を実施 |
| | 1月13日(土) ■第34回戸塚っ子いきいきアートフェスティバル(戸塚小学校) 区内小中高生による合唱・吹奏楽・ダンスなどの合同発表会 | 1月13日(土)~1月14日(日) ■第17回戸塚っ子いきいきアートフェスティバル作品展(戸塚区総合庁舎3階多目的スペース他) | 1月20日(土) ■青少年の健全育成を進める県民大会 | 3月10日(日) ■横浜市青少年指導員大会(関内ホール) | 12月10日(日)~12月15日(金) ■12/10児童文化作品展(戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース) 子どもたちが作った作品を紹介展示 ■12/10~15 児童文化作品展及び青少年指導員活動紹介パネル展(戸塚区総合庁舎3階 区民広間・多目的スペース) |



実施内容については変更する場合があります。

編集発行 ● 戸塚区青少年指導員協議会広報部 / 印刷 ● (株)佐藤印刷所 ☎ 045-231-2434

お問合せ・ご意見は 戸塚区地域振興課 ☎ 045-866-8415 to-chishin@city.yokohama.jp

集まれ! 戸塚区青少年指導員(青指) だよ!



さくらっこ!



第74号

2023年
9月24日



戸塚区青少年指導員協議会は 戸塚区青指 検索

目次

P. 1... 子育てにおける「多様性」 / P. 2・3... 戸塚区内の各地区紹介！
P. 4... 学齢期の子どもの居場所 ～子ども食堂と学習支援～ / 2023年度 上期行事・2023年度 下期行事予定



子育てにおける「多様性」

以前にこの子育てワンポイントで「多様性」について触れたことがありました。

「多様性」とは、価値観や考え方を含めたそれぞれ個人の違いを認めて、お互いを尊重する姿勢や心構えです。人それぞれ違っていてもいい、人それぞれ違って当たり前、とお伝えしました。

この価値観や考え方の違いを知るには、自分と異なる考え方や意見にこそ耳を傾け、自分と違う言動に注目する必要があります。そして相手との違いをしっかりと認識することが「多様性」への第一歩です。

今回は子育ての中で、子どもとの違いを認めることについて子どもの成長を追いながら見ていきたいと思います。

※以下の年齢表示は目安です。個人差があります。

※以下の年齢表示は目安です。個人差があります。

<自我の芽生え> 2歳頃

運動能力が付くことで「ああしたい、こうしたい」と自分のしたいことを示すようになります。

親にとっては「私も(子どものころは)こんなだったのか」「(自分の)親も苦労したんだな」と、我が子であっても「異なる個性」として違いを認め、好奇心を持って大切に育てる時期です。

<イヤイヤ期> 3~4歳頃

行動範囲が広がり、ますます自己主張が強くなります。第一次反抗期とも言われ、親や周りの言うことを聞かず反抗します。早ければこの時期からジェンダーレスを自覚する子どももいます。

親としては「男の子は…」[女の子は…]と言うような自分の「決め付け」「思い込み」を脇に置くことも大切です。

<学童期> 6~12歳頃

学力も付き友達関係も広がる一方で、子どもたちの中ではまだまだ「多様性」への意識は育たず、自分たちと異なる

相手に対して「いじめ的行為」が発生したりします。

親としては睡眠、食事などの「生活態度の変化」に注視し、もし変化が2週間以上続くようであれば「何かあったの?」と「聴く姿勢」が大切です。その際、子どもと自分との価値観の差、考え方の差をしっかりと受け止め認めることが重要です。認めることは賛成でなくても良いのです。

<青年期> 10歳頃~

心と身体が大きく成長する時期です。論理的思考力も身に付いてきて、自分と他者の違いにも意識が強くなり、親と精神的・物理的に距離を取ろうとする親離れの時期でもあります。つまり「多様性」に関心が強くなる時期です。それゆえに仲間意識が強くなり、ストレスを引き金に仲間外れや無視といった「本格的ないじめ」が発生する時期でもあります。注意すべきは「親に心配をかけたくない」といじめられている事を隠す場合です。

親としては前項と同様に「生活態度の変化」に注意が必要でしょう。子どもの価値観や意見を受け入れることはもちろんですが、意見の対立を恐れず対等な大人同士として自分の意見や考え方を伝えることも大切です。

親と子、一緒に暮らしているだけで親の持つ価値観の多くが子どもに引き継がれることは少なくありません。しかし、多くの親子では20歳以上年が離れていることと思います。社会環境、生活環境、情報の量や質は親子で大きく異なっているはずで、価値観や考え方は違って当たり前という前提が大切です。

また私たちは人間関係の煩わしさを避けるために、つい「人それぞれだから」と対話もせず距離を置こうとしてしまいがちです。私たち自身が日頃から常に相手と真剣に向き合い、「多様性」を認め合う姿勢を大切に心がける、その姿勢こそ、是非子どもたちに引き継いでいてもらいたいですね。



※これまでの子育てワンポイントは右のところから読むことができます。 戸塚区 青指だよ! 検索 https://www.city.yokohama.lg.jp/totsuka/kurashi/kosodate_kyoiku/ikusei/seishi/seishidayori2.html



MAP 1

川上地区

<活動における三か条>

- ◆**第一条 子どもたちの「生きる力」を育む**
 - ・基本的に雨天決行…雨、風に負けない
 - ・ケガやヤケドは覚悟の上参加
 - ・見守るが手伝わない
 - <危険を感じて初めて回避力が身に付く!!>
- ◆**第二条 子どもたちの「自主性・創造力」を育む**
 - ・参加を賞品や景品などモノで釣らない
 - ・作品作りにキットなどの既製品を使わない
 - <与えるより引き出すことを大切に!!>
- ◆**第三条 大人たちの「子ども心」を復活させる**
 - ・水、火、雪、泥に触れ合うイベントを開催
 - ・「親」が「ガキ大将」になる
 - <子どもの目線に気が付く!!>

主なイベント

自転車天国&スプラッシュ 8月



区民まつり 11月



チャレンジフェス 2月



戸塚区の北東部に位置する川上地区は、多くの桜に囲まれた2つの町内会と3つのマンション自治会の約5,000世帯で構成され、現在11名の青少年指導員が左の「三か条」に則り活動をしています。

主な年間イベント

| | |
|-----|-------------------------|
| 5月 | チャレンジフェスティバル(幅跳びを担当) |
| 6月 | ダンボールハウスを作り泊まります |
| 7月 | 夏祭り(各町内会) |
| 8月 | 自転車天国&スプラッシュ |
| 10月 | レク大会(大運動会) |
| 11月 | 区民まつり(水ヨーヨー・スーパボールすくい等) |
| 12月 | 児童文化作品作り(いろいろなものを作ります) |
| 2月 | 川上版チャレンジ・フェス |



●公園にも川沿いにも桜がいっぱい



戸塚区内の各地区紹介! 第3弾!

MAP 2

柏尾地区

主なイベント

インディアカ大会 6月

道具を使用しないで素手で羽を打合う簡単なスポーツです。お年寄りから子どもまで一緒になって楽しめます。



元旦マラソン 1月

新年一発目は、柏尾名物「元旦マラソン」。1キロから5キロまで自分の体力に合わせてコースを選択できます。



各地区お祭り 8月 10月

夏から秋の風物詩の各地区のお祭り。出店で舌鼓を打ち、夜空に広がる花火が鑑賞できます。



柏尾地区もちつき大会 12月

師走はじめの恒例行事。厳選したもち米を蒸籠で蒸かして、木の杵と臼で頑張ってつく美味しいお餅です。



おすすめスポット



●不動坂交差点(国道1号)

箱根駅伝の観戦スポットで人気です。2023年度に歩道橋が完成予定です。登下校時には柏尾小学校学援隊も見守り活動を行っています。

MAP 3

北汲沢地区

主なイベント

ホテル鑑賞会 5月

2023年は舞岡公園で行われ、23家族65人の参加がありました。幻想的なホテルの輝きに皆さん感動されています。



芋堀り体験 10月

2022年の第1回芋堀り体験では、小さな農園に想定外の150人を超える参加があり、青少年指導員一同大混乱の中、何とか無事に、参加者全員がお芋をゲットできました。



毎年大好評の門松作り 12月

青少年指導員総出で竹を切り、松飾りを用意し、地域の方々に無償でお渡ししています。200世帯以上のお正月の玄関を彩りました。



MAP 4

上倉田地区

主なイベント

ミニ門松作り 12月

竹やぶの竹を青少年指導員で切り出し、倉田コミュニティハウスで子どもたちが大人と一緒にミニ門松を作っています。



児童文化教室 12月

小学生の子どもたちで小さなクリスマスツリーを作っています。近年はLEDを使った光るクリスマスツリーが子どもたちに人気です。



おすすめスポット



●(藤原実方のお墓) 実方塚

実方塚(さねかたづか)の実方とは、百人一首に出てくる藤原実方のこと。平安時代中期の貴族で「中古三十六歌仙」の一人に数えられる著名な歌人でした。実方は時の権力者と清少納言をめぐる争ったため左遷となり、失意のうちに京都から奥州へ向かう道すがら、落馬がもとで病の人となり、この上倉田で命を落とした、といわれています。

MAP 3

北汲沢地区

主なイベント

ホテル鑑賞会 5月

2023年は舞岡公園で行われ、23家族65人の参加がありました。幻想的なホテルの輝きに皆さん感動されています。



芋堀り体験 10月

2022年の第1回芋堀り体験では、小さな農園に想定外の150人を超える参加があり、青少年指導員一同大混乱の中、何とか無事に、参加者全員がお芋をゲットできました。



毎年大好評の門松作り 12月

青少年指導員総出で竹を切り、松飾りを用意し、地域の方々に無償でお渡ししています。200世帯以上のお正月の玄関を彩りました。



おすすめスポット



●緑豊かな踊場公園



●アスレチックで遊べるにゃんぱく岩



●北汲沢地区より臨む富士山